

黒正塾・寺子屋の活動記録

第 1 回 「史料が語る経済史」		
1999年7月29日	農書にみる江戸時代の農業 —大和国「山本家百姓一切有近道」を素材にして—	徳永 光俊 (大阪経済大学日本経済史研究所 所長)
1999年7月30日	日誌にみる江戸時代の農村 —河内国「午年日記帳」を素材にして—	徳永 光俊 (大阪経済大学日本経済史研究所 所長)
1999年7月31日	史料が語る農林業の歩み	山田 達夫 (大阪経済大学学長)
「史料が語る経済史」 (於：和歌山)		
1999年11月14日	農書にみる江戸時代の農業と農村 —紀伊国「作り方秘伝」を読む—	徳永 光俊 (大阪経済大学日本経済史研究所 所長)

第 2 回 「史料が語る経済史」		
2000年7月27日	京都呉服商人の営業戦略—中島家（銭屋）文書を読む—	渡邊 忠司 (大阪市史料調査会主任調査員)
2000年7月28日	近世の飛脚にみる通信・宅配事情 —『飛脚問屋井野口屋記録』を読む—	渡邊 忠司 (大阪市史料調査会主任調査員)
2000年7月29日	日本の貨幣学—江戸時代の藩札について—	作道 洋太郎 (大阪大学名誉教授)

第 3 回 「史料が語る経済史」		
2001年7月26日	電子化事始—戦時下の電機企業—	吉田 秀明 (大阪経済大学経済学部助教授)
2001年7月27日	松下電器歴史館（大阪府門真市）見学	吉田 秀明 (大阪経済大学経済学部助教授)
2001年7月28日	日本の企業グループの歴史と現在 —新興コンツェルンと株式会社—	下谷 政弘 (京都大学大学院経済学研究科教授)
(秋季開催) 写真展との共通テーマ “見て、学んで わが町再発見”		
2001年10月28日	往来物で学ぶ江戸時代 (於：大阪・瑞光寺)	徳永 光俊 (大阪経済大学日本経済史研究所 所長)
2001年11月2日	往来物で学ぶ江戸時代 (於：本学)	徳永 光俊 (大阪経済大学日本経済史研究所 所長)

第 4 回 史料が語る経済史—「イギリス」って何?—		
2002年7月25日	史料と写真によるイングランドの歴史散策 —古代ブリタニアからピューリタン革命まで—	松村 幸一 (大阪経済大学経済学部教授)
2002年7月26日	アイルランド：土地と自由を求めて —連合王国のアキレスの踵—	本多 三郎 (大阪経済大学経済学部教授)
2002年7月27日	複合国家（連合王国）イギリスの形成	山本 正 (大阪経済大学人間科学部 助教授)

第 5 回 3 大学学術交流記念「史料が語る経済史」		
2003年7月5日	黒正巖と『経世済民』史学	徳永 光俊 (大阪経済大学日本経済史研究所 所長)
2003年7月19日	日本における経済社会の成立	岩橋 勝 (松山大学大学院経済学研究科科 長)
2003年7月26日	東アジアにおける日本経済史	村上 勝彦 (東京経済大学学長)

第 6 回 3 大学学術交流記念「史料が語る経済史」		
2004年7月17日	最後の将軍徳川慶喜と京都・大坂	家近 良樹 (大阪経済大学人間科学部教授)
2004年7月24日	日記に見る 20 世紀の地域経済史	川東 輝弘 (松山大学経済学部教授)
2004年7月31日	経済小説で読み解く戦後経済史	堺 憲一 (東京経済大学経済学部教授)

第 7 回 3 大学学術交流記念「史料が語る経済史」		
2005年7月16日	黒正巖と日本経済学—道理貫天地をめぐって—	徳永 光俊 (大阪経済大学経済学部教授)
2005年7月23日	東西交流 今と昔—紅茶と砂糖をめぐって—	渡辺 孝次 (松山大学経済学部助教授)
2005年7月30日	歴史における『市民』という言葉—近代の再検討—	福士 正博 (東京経済大学経済学部教授)

第 8 回 「史料が語る経済史」 アイルランド土地問題 ～過去と現在～		
2006年7月15日	イングランドからやってきた地主たち ～16・17世紀のニューイングリッシュ～	山本 正 (大阪経済大学人間科学部教授)
2006年7月22日	土地戦争と土地改革～19世紀から独立まで～	本多 三郎 (大阪経済大学経済学部教授)
2006年7月29日	土地政策と土地委員会の軌跡～独立から今日まで～	田畑 保 (明治大学農学部教授)

第 9 回 「史料が語る経済史」 『杉田定一関係文書目録』出版記念（図書館共催）		
2007年7月14日	杉田仙十郎・定一 夫婦の近代	家近 良樹 (大阪経済大学経済学部教授)
2007年7月21日	自由民権運動と杉田定一	飯塚 一幸 (大阪大学大学院文学研究科准教授)
2007年7月28日	杉田定一関係文書の世界	二宮 美鈴氏 (大阪経済大学日本経済史研究所研究員) 岩本 真一氏 (大阪経済大学日本経済史研究所研究員) 熟 美保子氏 (大阪経済大学日本経済史研究所研究員)

第 10 回 「史料が語る経済史」 東アジア世界と昭和日本		
2008年7月12日	東アジア工業化と松下電器 —エレクトロニクス事業の構造変化—	少徳 敬雄 (松下電器産業株式会社元副社長)
2008年7月19日	昭和の大阪と在阪朝鮮人—戦前期を中心に—	北崎 豊二 (大阪経済大学元学長)
2008年7月26日	20世紀朝鮮史の国際環境	李 憲昶 (韓国・高麗大学校教授・経済史学会副会長)

第 11 回 「史料が語る経済史」 1930年代世界恐慌をふりかえって		
2009年7月11日	世界恐慌と経済政策—とくにフランスの場合—	竹岡 敬温 (大阪大学名誉教授)
2009年7月18日	昭和恐慌下の日本経済	秋吉 史夫 (大阪経済大学経済学部専任講師)
2009年7月25日	自由と規制—1930年代恐慌から何を学ぶか—	西川 純子 (獨協大学名誉教授)

第 12 回 近代東アジアの国際情勢と「韓国併合」		
2010年7月10日	近代東アジアの国際秩序と「韓国併合」	閻 立 (大阪経済大学経済学部准教授)
2010年7月17日	韓国から見た「韓国併合」	金 鳳珍 (北九州市立大学外国語学部教授)
2010年7月24日	日本から見た「韓国併合」	月脚 達彦 (東京大学大学院総合文化研究科准教授)

第13回 辛亥革命と近代東アジア		
2011年7月9日	連鎖的視点からみる辛亥革命と日本	山室 信一 (京都大学人文科学研究所教授)
2011年7月16日	辛亥革命の背景と日中関係	川島 真 (東京大学大学院総合文化研究科准教授)
2011年7月23日	辛亥革命と中国の近代史	佐々木 揚 (佐賀大学文化教育学部教授)

第14回 関西経済と中小企業—過去・現在・未来—		
2012年6月30日	大阪経済の歴史的眺望—伝統と革新の系譜—	宮本 又郎 (大阪経済大学客員教授・大阪大学名誉教授)
2012年7月7日	地域社会に組み込まれた産地の中小企業	加護野 忠男 (大阪経済大学客員教授・神戸大学名誉教授)
2012年7月14日	東大阪の中小企業集積の形成と発展	植田 浩史 (慶應義塾大学経済学部教授)

第15回 1930年代前半の日本とアジア		
2013年7月6日	日本綿業とアジア—経済外交を通して考える	籠谷 直人 (京都大学人文科学研究所教授)
2013年7月13日	1930年代の中国と日中経済関係 —国歌になる歌が生まれた時代—	久保 亨 (信州大学人文学部教授)
2013年7月20日	小説にから見る普通の人々 —1930年代における庶民と大衆—	近藤 直美氏 (大阪経済大学経済学部教授)

第16回 世界に羽ばたく大阪企業		
2014年7月5日	日清食品創業者・安藤百福—不撓不屈の企業家精神	筒井 之隆 (安藤百福発明記念館館長・日清食品ホールディングス株式会社常勤顧問)
2014年7月12日	日本国籍(本籍：大阪堺)のグローバル企業を目指して ～大阪流「どぶ板営業」は世界に通用するか～	坪内 俊貴 (ダイキン工業株式会社執行役員空調営業本部長)
2014年7月18日	ダイキン工業株式会社 堺製作所金岡工場見学バスツアー	

第17回 日中戦争を考える		
2015年7月4日	日産の満洲移駐と産業開発政策の展開	飯塚 靖 (下関市立大学経済学部教授)
2015年7月11日	近代中国綿業と日本—技術を通して考える	富澤 芳亜 (島根大学教育学部教授)
2015年7月18日	戦時図書「掠奪」と日本による中国調査活動	金丸 裕一 (立命館大学経済学部教授)

第 18 回 イスラームの過去・現在・これから		
2016年7月2日	イスラーム教とグローバル社会	池内 恵 (東京大学先端科学技術研究センター准教授)
2016年7月9日	イスラーム世界と帝国日本経済 —戦間期大阪・神戸の対「回教圏」貿易をめぐって—	坂本 勉 (慶應義塾大学名誉教授)
2016年7月16日	イスラームとビジネス活動—パキスタンを中心として—	川満 直樹 (同志社大学商学部准教授)

第 19 回 資源の経済史		
2017年7月1日	石油ではじまり、石油で敗けた太平洋戦争 —資源の安全保障を考える—	三輪 宗弘 (九州大学附属図書館記録資料館産業経済資料部門教授)
2017年7月8日	農牧畜資源と戦前の日豪交易 —羊毛・小麦を中心に—	天野 雅敏 (岡山商科大学経営学部教授)
2017年7月22日	資源を争う日本と中国—鉄をめぐる対立と日中戦争—	萩原 充 (釧路公立大学経済学部教授)

第 20 回 考古学への招待		
2018年7月14日	ヒトはなぜ洞穴に住んだか—洞穴遺跡と考古学—	藤山 龍造 (明治大学文学部准教授)
2018年7月21日	近現代考古学の可能性 —社会に開かれた歴史を目指して—	安藤 広道 (慶應義塾大学文学部教授)
2018年7月28日	海外考古学調査と地理情報技術活用の現在 —中国と中東の事例から—	渡部 展也 (中部大学人文学部准教授)

第 21 回 五四運動と東アジア		
2019年7月6日	五四運動と中国知識人	閻 立 (大阪経済大学経済学部教授)
2019年7月13日	周縁への眼差し、周縁からの眼差し —五四運動と大正モダニズム—	緒形 康 (神戸大学大学院人文学研究科教授)
2019年7月20日	「愛国無罪」の源流—日中関係の中の五四運動—	村田 雄二郎 (同志社大学グローバル・スタディーズ研究科教授)

第 22 回 近代とスポーツ		
2021年7月3日	オリンピック対抗運動の系譜	高嶋 航 (京都大学大学院文学研究科教授)
2021年7月10日	三つの東京五輪と日本の近現代	坂上 康博 (一橋大学大学院社会学研究科教授)
2021年7月17日	東京オリンピックと東海道新幹線	老川 慶喜 (立教大学名誉教授)

第23回 昭和の経済史		
2022年7月2日	朝鮮戦争特需以後における経団連防衛生産委員会の模索 —日本技術協力会社の設立と南ベトナムへの技術者派遣—	澤井 実 (大阪大学名誉教授)
2022年7月16日	住友の鉱山・製錬業—昭和恐慌期から戦後復興期まで—	渡邊 純子 (京都大学大学院経済学研究科教授)
2022年7月23日	阪神電気鉄道の昭和史	廣田 誠 (大阪大学大学院経済学研究科教授)

第24回 大阪の歴史再考		
2023年7月8日	迷路のような大阪梅田の誕生 —鉄道と商業施設の歴史を中心に—	谷内 正往 (大阪商業大学総合経営学部教授)
2023年7月15日	社寺参詣と鉄道—戦前期の関西地方を事例に—	平山 昇 (神奈川大学国際日本学部准教授)
2023年7月22日	近代大阪における百貨店の歴史	加藤 諭 (東北大学学術資源研究公開センター准教授)

第25回 春の部 歴史のなかの人間と生きもの・環境		
2024年5月11日	中国パンダ外交史	家永 真幸 (東京女子大学現代教養学部教授)
2024年5月25日	スギ・タケ・クリの戦国日本	高木 久史 (大阪経済大学経済学部教授)
2024年6月22日	経済学は<自然>をどう考えてきたか	桑田 学 (放送大学教養学部准教授)

第25回 秋の部 食と日常の近代・現代		
2024年10月19日	「甘いもん」から考える胃袋と社会の近現代史	湯澤 規子 (法政大学人間環境学部教授)
2024年11月2日	カルピスと近代家族	鈴木 貴宇 (早稲田大学文学学術院文学部教授)

第26回 春の部 食と環境のグローバルヒストリー		
2025年5月17日	両大戦間期、日本茶の新販路開拓	吉田 建一郎 (大阪経済大学経済学部教授)
2025年5月31日	ブラジルはコーヒー色に染まる —「コーヒー大国」への歴史的過程—	小澤 卓也 (神戸大学国際人間科学部教授)
2025年6月21日	イワシと百姓の江戸時代	武井 弘一 (金沢大学人間社会学域教授)

第 26 回 秋の部 経済思想の東西		
2025 年 10 月 4 日	神田孝平の兵庫県政	南森 茂太 (長崎大学経済学部准教授)
2025 年 10 月 18 日	自由は不自由の際にあり : J.S.ミルと福澤諭吉	山尾 忠弘 (大阪経済大学経済学部准教授)

第 27 回 春の部 近代の日中関係を考える		
2026 年 5 月 16 日	清朝はなぜ満洲を変えようとしたのか —清末東三省の行政改革—	閻 立 (大阪経済大学経済学部教授)
2026 年 5 月 23 日	近代東アジアにおける仲裁裁判の受容 —日清の比較を中心に—	箱田 恵子 (京都大学大学院文学研究科教授)
2026 年 6 月 27 日	【開催中止】 戦前期、満洲で活動した日本人について	塚瀬 進 (長野大学地域経営学部教授)